

委員会レポート

行政視察の結果を報告します



全面開通で、経済活動の活発化や復興加速につながる期待が集まる一方、犯罪の増加などを懸念する声も出ています。今回、現地を視察し、映像では分かりにくいことを実際に目で見、耳で聞いたことは大変参考になり、今後の議会活動においても有意義な研修となりました。

当特別委員会では、東海村で原子力に関する環境問題等について研修を受け、続いて福島第一原発事故による帰還困難区域の交通規制が解除された、福島県の富岡町・大熊町・双葉町の行政視察を実施しました。

福島第一原発事故後、通行規制が続いていた富岡町―双葉町の国道6号（14.1キロ区間）が自由通行に移行しました。

区間内の平均放射線量は、3.8マイクロシーベルト。最大値は17.3と高い線量が残っていました。車内から、荒れ果てた水田・野山・宅地を目にし、また、防犯パトロールを行う警察官の多さにも驚きました。

福島第一原子力発電所事故による放射性物質漏えい被害対策調査特別委員会

視察先：東海村・福島県富岡町・大熊町・双葉町

12/18～12/19

行方市のココが見たい！知りたい！ 行政視察来訪

・1月27日、宮城県柴田町議会が「フットパス事業」(商工観光課担当)について、視察来訪しました。



・2月17日、山梨県南アルプス市議会が「なめがた食彩マーケット会議」(6次産業) (農林水産課担当)について、視察来訪しました。



柴田町・南アルプス市のますますの発展をご期待いたします。